

平成30年産 仙南稲作情報（第3号）

平成30年6月20日発行
宮城県大河原農業改良普及センター
TEL: 0224-53-3431 FAX: 0224-53-3138
※この資料に関する問い合わせは、
上の連絡先までお願いします。

- 残苗は、早急に処分しましょう！
- 有効茎数に達したら、中干しを行いましょう。

1 気象経過（丸森アメダス、6月9日～6月19日）

- ・6月半ばの平均気温は平年より低く（平年差-0.9）日照時間も平年より少ない傾向でした。（平年比78%）。

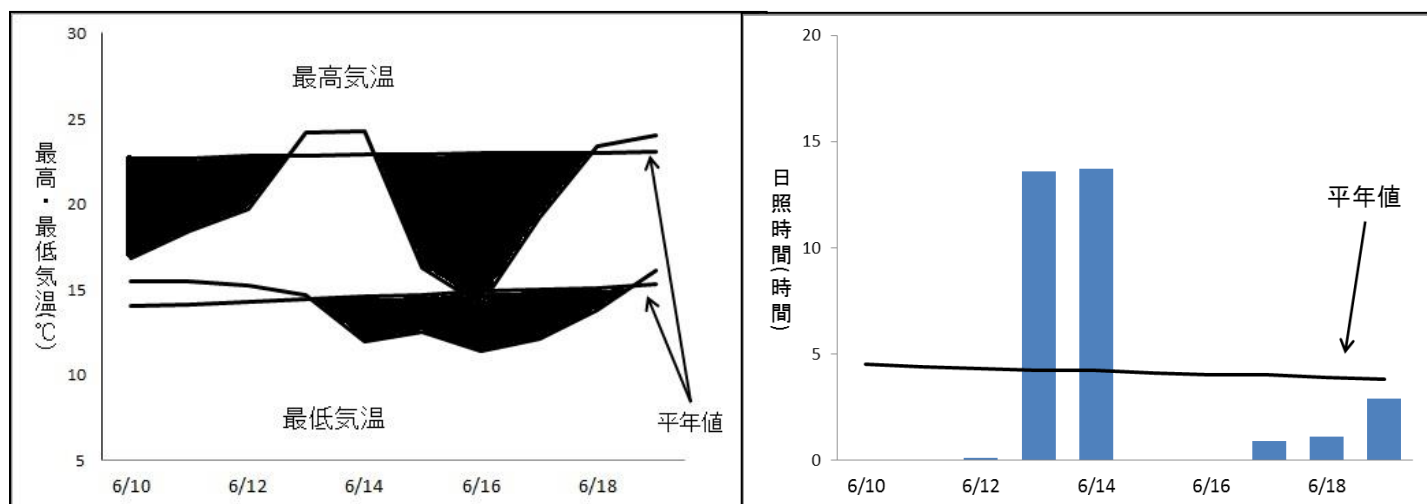


図1 気象経過（丸森アメダス、6月10日～6月19日）

2 管内の生育状況

【6月20日調査結果】

- ・生育は平坦部の「ひとめぼれ」では茎数はやや多く、葉数も進んでいる状況となっており、調査ほ場と同時期に田植えしたほ場では「有効茎数」に達しているほ場もあると見られます。
- ・「だて正夢」についても、ほぼ「有効茎数」に達しており、中干し作業に入る時期に達したと見られます。
- ・その他の調査ほ場につきましても、葉数は前回から、ほぼ1枚増加しており、また、茎数も順調に増加しています。

□ 皆さんのほ場と場所や品種、田植日が近いところのデータを参考にして下さ

表1 管内の生育調査結果(6月20日)

No	ほ場所在地	品 種	田植月日		草 丈			茎 数			葉 数			葉 色 (GM)		
			本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/m ²)	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差		平年差	前年差
1	角田市野田	ひとめぼれ	5/14	5/8	41.6	92	107	480.3	113	105	10.2	1.0	1.0	41.3	▲ 3.6	0.5
2	大河原町金ヶ瀬	ひとめぼれ	5/8	5/7	43.8	102	129	571.5	115	129	9.0	0.4	0.2	40.9	▲ 4.7	▲ 3.4
3	角田市島田	つや姫	5/22	5/15	35.4	86	103	255.3	63	58	8.4	▲ 0.3	0.0	39.4	▲ 4.3	▲ 4.6
4	白石市小原	ひとめぼれ	5/16	5/17	33.2	99	114	179.2	61	113	8.8	0.5	1.4	38.9	▲ 3.1	0.8
5	蔵王町宮	まなむすめ	5/19	5/8	37.5	81	99	370.5	65	66	7.6	▲ 1.3	▲ 1.3	39.8	▲ 4.3	▲ 0.5
6	七ヶ宿町湯原	やまのしずく	5/23	5/26	28.0	88	91	108.9	82	173	6.8	0.1	0.6	36.1	0.1	0.5

◆平年値は前5か年(H25~29)の平均値

※白石市小原「ひとめぼれ」(調査2年目)蔵王町「まなむすめ」(調査初年度)のため、「西部丘陵地帯」の平年値との比較

角田市「つや姫」については「播種量」が前年「150g/箱」に対し、今年は「230g/箱」となっている。(密苗に近い播種量)

表2 だて正夢の生育調査結果(6月20日)

ほ場所在地	地帯区分	田植月日		草 丈		茎 数		葉 数		葉 色 (GM)	
		本年	前年	(cm)	前年比	(本/m ²)	前年比	(枚)	前年差		前年差
角田市鳩原	南部平坦	5月9日	5月6日	50.0	121.4	432.5	112.1	9.3	0.9	44.6	2.0

3 今後の管理

【水管理】

・有効茎数を確保したら、中干しをしましょう。

□ 1m²当たりの茎数を数えてみましょう！

① 「株当たり茎数」を数えます。

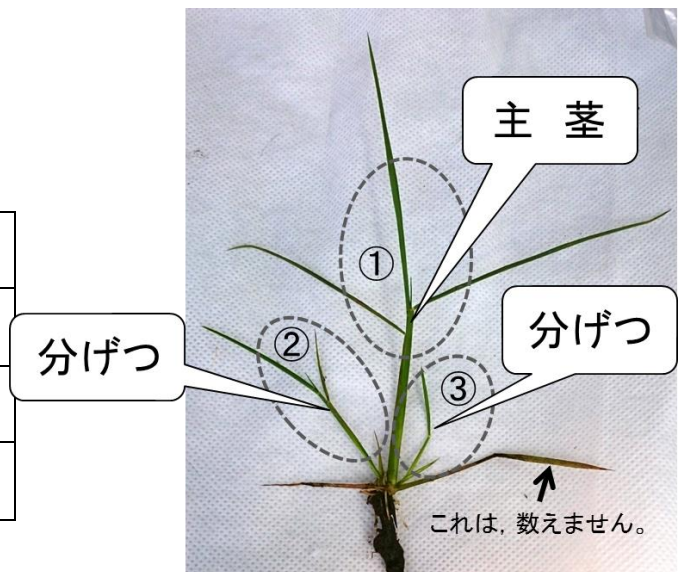
※ 茎数は、「主茎」と「分けつ」の数を数えます。

※ 「分けつ」は、葉が2枚以上ある茎です。

② 「1m²当たり茎数」= 「株当たり茎数」× 「坪当たり株数」÷ 3.3

表4 有効茎数確保期(6月20日ころ)の茎数(目安)

品 種	1m ² 当たりの有効茎数
ひとめぼれ	480 ~ 520
まなむすめ	460 ~ 500
つや姫	390 ~ 450



< イネの主茎と分けつ >
※ 上の写真では、3本と数えます。

【 中 干 し 】

- ・有効茎数（目標穂数）を確保したら、根の活力向上、無効分けつの発生抑制、土壤物理性の改善のため、中干しを行いましょ。う。
- ・中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、足跡が付く程度の固さまでとし、※「幼穂形成期」の前までには終えるようにしましょ。う。
- ・中干し終了後に急に湛水状態にすると土壤の還元が進み、中干しをしない場合よりも、酸素不足になり根を傷めやすくなります。中干し終了直後は走り水程度とし、徐々に湛水状態に戻します。

※「幼穂」は穂が出る 30 日前頃からではじめます（管内の平年日：7/10 頃から）

【 病 害 虫 防 除 】

「葉いもち」

- ・葉いもちは直接収量や品質に影響を与える穂いもちの伝染源となります。
- ・水田をこまめに見回り、早期発見、早期防除に努めましょ。う。

❑ 残苗（補植用苗）は、早急に処分しましょ。う。

残苗はいもち病に感染しやすく、放置するといもち病の発生源となり、最大半径 1 km 程度まで発病が見られる可能性があります。

❑ 葉いもち予防剤を箱施用していない場合。

発生してからの防除では効果が期待できないので、予防のために早急に粒剤を散布しましょ。う。

【 雑 草 防 除 】

- ・斑点米カメムシ類が水田へ飛来するのは、通常稲の出穂期以降ですが、ヒエやイヌホタルイ等の雑草があると、出穂前でもカメムシ類を水田に呼び寄せてしまします。
- ・残草が目立つ場合は、後期除草剤などの利用による除草管理を徹底しましょ。う。

❑ 最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。

❑ 農薬使用の際に飛散防止対策を講じましょ。う。

4 直播栽培における管理のポイント

【6月20日調査結果】

- ・茎数は前年よりもやや長くなっていますが、茎数は少なめとなっています。また、葉数もやや遅れています。

表5 生育調査結果（6月20日）

ほ場所在地	地帯区分	品 種	播種月日		苗立数(本/㎡)				
			本年	前年	本年 (5/31)	前年 (5/29)			
蔵王町小村崎	南部平坦	ひとめぼれ	5月11日	5月12日	73	65			
		草丈		茎数		葉数		葉色(GM)	
		(cm)	前年比	(本/㎡)	前年比	(枚)	前年差		前年差
		20.3	111.5	137.0	68.6	5.9	▲ 0.3	37.6	▲ 0.9

【水管理】

- ・水温を上昇させ、分げつの発生を促すため、浅水管理を行いましょう。
- ・目標穂数（ひとめぼれ：450本/㎡）の80%程度を確保したら、溝きり・中干しを実施しまししょう。
（畝間30cmで1mあたり「120本」だと「400本」になります。）
※中干しは移植栽培よりも強めに実施しまししょう！！

【雑草防除】

- ・ほ場に残っている雑草の種類と葉齢や稲の葉齢を確認し、適切な剤を選んで、適期に処理しまししょう。

【いもち病防除】

- ・播種同時施用や種子処理剤の施用を行っていない場合は、粒剤による防除を、6月中～下旬頃を目安に行いまししょう。
- ・一旦発病すると移植栽培より急激に広がる場合が多いので、葉色の濃いところや枕地などで病斑がないか、こまめに確認しまししょう。

○平成30年度宮城県農薬危害防止運動実施中（6/1～8/31）

農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農産物を届けるため、農薬の使用に当たっては最新の登録情報を確認し、適正に使用しまししょう。

最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ（<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>）で確認できます。